



文化博物館だより 第573号

2021年10月1日

今回の博物館だよりは、開催中の企画展「明石藩の世界Ⅸ—幕末維新と人々のくらし—」の関連イベント報告と、「第4回 あかし若手アートチャレンジ」のご案内をお届けします。

企画展「明石藩の世界Ⅸ—幕末維新と人々のくらし—」関連イベント



加納学芸員による講演会のようす

9月は、現在開催中の企画展「明石藩の世界Ⅸ—幕末維新と人々のくらし—」の関連イベントとして、特別講演会を含む講演会を2回と、連携事業として、明石葵会主催によるシンポジウムを開催しました。

まず9月18日(土)は、「東京高輪の旧藩主松平家と明石士族」と題して、本展担当学芸員の加納亜由子による講演会を開催。9月19日(日)には、関西大学文学部准教授の高久智広氏をお迎えして、特別講演会「幕末の大阪湾防備と明石藩」を開催しました。また9月23日(木・祝)



高久氏による特別講演会のようす

には、岡泰正氏(神戸市立小磯記念美術館 神戸ゆかりの美術館 館長)と宮本博氏(神戸史学会会員)に、「明石藩松平家 奥方たちの副葬品を点検する—美術工芸の視点から」、「明石藩士と城下の寺院」についてそれぞれお話をいただき、最後はお二人による対談で締めくくられたシンポジウムを開催しました。

いずれのイベントにおいても、様々な資料を用いた各研究者ならではの深い講演内容に、参加された皆様熱心に聞き入っておられました。なお10月中も関連イベントとして講演会と古文書講座を各1回予定しています。展覧会は10月17日(日)までです。この機会に明石の歴史に深く触れてみてはいかがでしょうか。



シンポジウムのようす

開催中！第4回「あかし若手アートチャレンジ」(10月10日まで)

9月26日(日)より第4回「あかし若手アートチャレンジ」が開幕しました。今年度は、下記5校の生徒や学生たち58名による絵画や立体など多様なジャンルにわたる作品計63点を展示しています。本展は、ただ出品するだけではなく、生徒や学生が当館の学芸員やスタッフとともに作り上げる展覧会であり、展示作業や作品に照明を当てる作業などにも挑戦していただきました。初日に予定していた出品者によるギャラリートークは、あいにく中止となりましたが、ご自身の作品に対する思いを語っていただいた映像を会場にてご覧いただけます。また本展の展示作業の様子を収録した映像も放映しておりますので展示作品とともに楽しみみてください。



第4回「あかし若手アートチャレンジ」チラシ・ポスター
デザイン：兵庫県立明石南高等学校2年 吉岡 ひかる

【会期】9月26日(日)～10月10日(日) ※入場無料

【入場時間】10時～17時

ただし最終日の10月10日(日)は10時～15時

【会場】明石市立文化博物館 2階ギャラリー

【休館日】10月4日(月)

【出品校】明石市立明石商業高等学校、兵庫県立明石高等学校、
兵庫県立明石南高等学校、兵庫県立錦城高等学校、
神戸芸術工科大学

企画展「明石藩の世界Ⅸ—幕末維新と人々のくらし—」

会期：2021年9月11日(土)～10月17日(日)

月曜休館

開館時間：9時30分～18時30分(入館は18時まで)

観覧料：大人200円、大高生150円、中学生以下無料

詳しい展覧会情報は当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com/>



おもしろいぞう！ たのしいぞう！
来て、見て、発見！
ぶんぱくGO!!